



市民ネットワーク鶴ヶ島は
大野ひろ子を
市議会に送っています



3月議会報告 2013.4
発行／市民ネットワーク鶴ヶ島
鶴ヶ島市富士見2-12-15



<http://www.tsuru-net.org/>

地域の元気臨時交付金 1億5千894万円の使い道

年末の総選挙後の政権交代で2013年度の国家予算審議は大幅に遅れました。政府は1月15日、公共事業を軸とした総額1兆3千105.4億円にのぼる2012年度補正予算案を決定しました。

そのうち1兆3千980億円は、土木関係やハコ物の地方負担を軽減し、元気にひたすら目的に向かって進むための使命をもった「地域の元気臨時交付金」です。

鶴ヶ島市では事前に補正予算で小学校の空調整備や引き続き耐震化工事を予定していたので、予想を超える交付金が入ることになり、さらに余裕のある補正予算を組んでいます。

(株)養命酒製造と(株)日産自動車のメガソーラー事業に伴う次世代自動車インフラ整備事業として、庁舎敷地内に急速充電器設置工事を行います。また、第一第二小学校のプール塗装工事、南公民館のエレベーター改修と下水道工事も計上されています。大橋公民館のロビーの空調も直すことになりました。

公園施設では、最近壊れて危険な遊具が撤去されているところも多くなっているため新しい遊具や、要望の多かったトイレの整備が計上されています。

市では条例を改正し、公園の広さを確保、整備案を方向付けていこうとしています。

この転換期に是非、前例踏襲ではない新たな発想の公園を創りたいものです。公園は大人も子どもも憩えるアウトドアの居場所です。最近、地域支援合い協議会で行われている「プレイパーク(冒険遊び場)」は、地域で子どもを育てていこうとしている今の時代の公園といえます。

気仙沼の子どもたちが名付けた「あそびーばー」は被災地だけに必要なものではないと感じました。

元気交付金。名前の通り地域の人たちの活力となるように使われなければその意味をなしません。ハコ物の修繕は進みました。が、本当に元気な地域になっていくのでしょうか。



12月8日つばきやまクラブにて